

～知と心がみたされる図書館を目指して～

第2次安曇野市図書館基本計画  
平成30（2018）年度～平成39（2027）年度

平成30（2018）年3月

安曇野市教育委員会

# 目 次

第1章 計画策定の目的と背景.....	2
1 計画の目的.....	2
2 計画の背景.....	2
3 計画の位置づけ.....	2
4 計画期間.....	3
第2章 本市の公立図書館の現状等.....	4
1 第1次計画の策定と図書館整備.....	4
2 公立図書館の現状と課題.....	4
第3章 基本理念.....	7
第4章 基本方針.....	7
1 市民への新鮮な資料や最新の情報の提供.....	7
2 さまざまな「学び」の場としての図書館サービスの充実.....	7
3 「地域の教育力」を高める活動の推進.....	8
4 図書館の利用に障がいのある方々の障がいの除去.....	9
5 本市の歴史と文化の継承.....	9
6 市民の調査・研究の支援の強化.....	9
7 計画の推進.....	10
資 料 編.....	11
1 目標基準例（日本の図書館 2011(日本図書館協会編)）.....	11
2 公立図書館概要.....	12
3 開館時間・休館日・貸出条件.....	12
4 蔵書数の推移.....	12
5 蔵書構成（平成 29 年 3 月 31 現在）.....	13
6 個人貸出点数の推移.....	13
7 地域別・年齢別・男女別貸出状況（平成 28 年度）.....	14
8 インターネットコーナー、AV ブース設置状況.....	14
9 市民、利用者、小中学生アンケート.....	15
10 市民ワークショップ.....	24
11 策定経過等.....	26

## 第1章 計画策定の目的と背景

### 1 計画の目的

超少子高齢化・人口減少社会の到来とともに、グローバル化、高度情報化への進展など、社会情勢は常に変化しており、本市においてもそれは例外ではありません。このような中、多様化する市民の要望に的確に対応し、すべての市民に計画的で充実した図書館サービスを提供し、本市の公立図書館の目指す姿を明らかにするために、安曇野市図書館基本計画（以下「第1次計画」という。）に引き続き、第2次安曇野市図書館基本計画を策定するものです。

### 2 計画の背景

本市は、平成20（2008）年3月に「第1次安曇野市総合計画（以下「総合計画」という。）」を策定し、将来像を「北アルプスに育まれ 共に響き合う 田園産業都市 安曇野」としました。この総合計画に基づき、図書館は、生涯学習の推進を担う施設とし、図書館を核とした交流学习施設等の整備、機能の充実を図ってきました。

また、平成21（2009）年9月に策定した第1次計画では、市民から信頼され、広く利用される図書館を目指し、基本理念に「市民へ質の高い情報を提供できる『情報のセンター』を目指します。」と「生涯学習の中核として市民の『学び』のニーズに応えます。」の二つを掲げ、資料・サービス等の充実を図ってきました。

このようなことから、総合計画及び第1次計画の期間中の平成21（2009）年9月に中央図書館、平成23（2011）年2月に豊科図書館、平成28（2016）年4月に堀金図書館、平成30（2018）年3月に三郷図書館が新設開館し、施設の整備は、概ね終了することとなりました。

また、第1次計画の期間中には、図書館法第7条の2に基づく「図書館の設置及び運営上の望ましい基準（平成24年文部省告示第172号）」が改正され、基本的運営方針、指標、目標等の設定、図書館の運営状況の評価及びその公表、ボランティア活動の機会の提供等を含んだ基準が示されました。

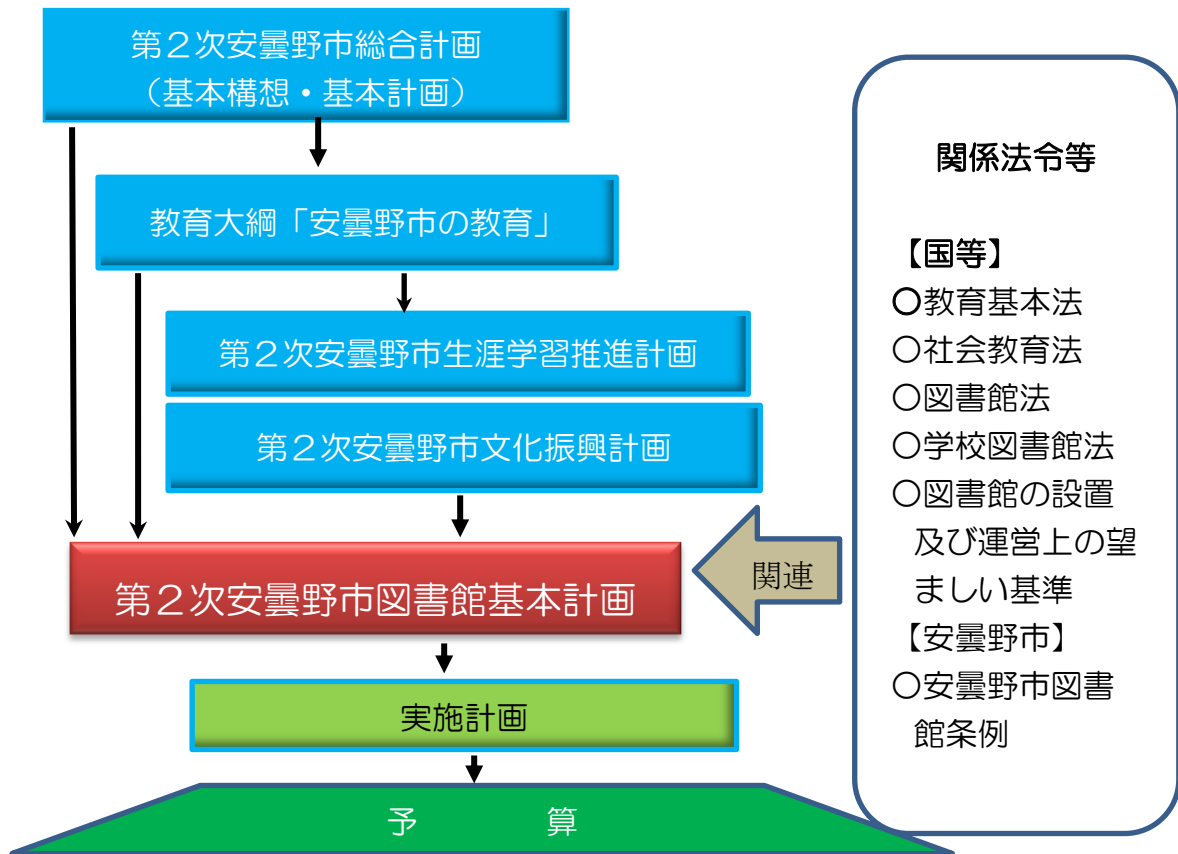
本市の生涯学習の推進には、誰もが学びやすく、学習意欲が高まる環境づくりに取り組むことや、市民の高度化・多様化するニーズに対応した学習機会を提供することが重要であり、図書館は、生涯学習の中核となる「情報センター」として、社会変化に対応したサービスの充実を図っていく必要があります。

本計画は、このような背景の中、図書館の機能をさらに充実し、図書館サービスの質的向上を図るため、総合計画などの上位計画を受け、本市の目指す図書館の姿を明らかにし、その実現に向けた施策を示すものです。

### 3 計画の位置づけ

本市の行政運営の基本となる計画である第2次総合計画のもと、教育大綱、個別

計画である第2次安曇野市生涯学習推進計画（平成30（2018）年度～平成39（2027）年度）、第2次安曇野市文化振興計画（平成30（2018）年度～平成39（2027）年度）を補完する計画であるとともに、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」に規定する「基本的運営方針」にあたるものとしします。



#### 4 計画期間

本計画は、平成30（2018）年度～39（2027）年度の10年間とします。ただし、毎年度、点検と検証を行いながら、必要に応じて見直しをするものとしします。

## 第2章 本市の公立図書館の現状等

### 1 第1次計画の策定と図書館整備

安曇野市まちづくり計画（新市建設計画）（平成17（2005）年3月策定）では、「地域を拠点とした生涯学習活動の活発化」の具体的な施策として、「住民ニーズに応え、各地域に図書館を建設し、ネットワーク化を図ります。なお、地域によっては、生涯学習センターなどの機能も併設させます。」とされていました。

平成17（2005）年10月の市政施行時の本市の図書館は、明科図書館を除く4館は、狭小で会議室などの必要な設備が整備されておらず、新鮮で多様な資料が少ないなど、総蔵書数、開架冊数、一人当たりの貸出冊数、利用者登録率が県内19市の平均値を下回り、充実した図書館サービスを提供しているとは言い難い状況でした。

このようなことから、第1次計画では、次の6つの項目を基本方針に定め、図書館を核とした交流学習施設を整備するとともに、機能の充実を図ってきました。

- (1) 新鮮な資料や最新の情報の提供
- (2) 様々な「学び」の場としての図書館サービスの充実
- (3) 「地域の教育力」の向上
- (4) 図書館利用に障がいのある方々への支援
- (5) 市の歴史の未来への伝承
- (6) 市民の調査・研究の援助

また、図書館施策の企画立案及び推進、幅広い資料の収集と長期保存等図書館サービスの中核を担う中央図書館と、地域に根ざした身近な地域図書館の運営計画を定め、施設の充実を図るとともに各館の特色ある運営と連携に努めてきました。

### 2 公立図書館の現状と課題

#### (1) 新鮮な資料や最新の情報の豊富な提供

市政施行から平成28（2016）年度までに、蔵書数は、約2倍となり、第1次計画の蔵書目標の40万冊に達しましたが、アンケート等では、新しい本、雑誌などの図書館資料の充実を望む意見や、視聴覚資料に対する満足度が他の資料に比べ低いなどの課題があります。

また、中央図書館では、信濃毎日新聞、法律情報、農業、インターネット百科事典、官庁情報の5種類のオンラインデータベース環境を提供しています。

さらに、全ての図書館で本の閲覧・貸出だけでなく、公衆無線LANの供用や、インターネットを利用できるパソコン、AV視聴ブースを設置していますが、他のサービスと比較すると利用が少ないことからサービスの周知などが課題です。

#### (2) さまざまな「学び」の場としての図書館サービスの充実

第1次計画の策定時から、全ての図書館で土日・祝日を開館日にするとともに、中央図書館では、平日は午前9時から午後8時までを開館時間としています。

全ての図書館で、児童用図書の書架、幼児用スペース、おはなしの部屋を設置するとともに、図書館ボランティアが中心となったお話会を中央図書館では毎週、地域図書館では月1回程度開催しています。あわせて、対象年齢別のブックリストの作成や比較的利用が少ないヤングアダルト層のコーナーを設置しています。

また、開館日には、図書館間で資料を運ぶ配本車を運行し、他館での貸出、返却を可能とするとともに、この配本車を利用し、認定こども園、児童クラブ、市内小中学校、病院、福祉施設等への団体貸出の配本を行っています。

平成27（2015）年5月からは、新しい図書館システムを導入し、インターネットからの蔵書検索や予約に対応しています。

しかし、アンケートでは、レファレンスやデータベースの利用が少ないことから、サービスの周知を図るとともに内容の充実に向けていく必要があります。

また、情報化社会が進展し、機器の発達や利便性の向上が高まっていることから、電子媒体による情報を収集、整理し、提供することが求められています。

### (3) 「地域の教育力」の向上

全ての図書館で、市民のニーズに沿った図書館講座を開催するとともに、読んだ本の感想を100冊分書き込むことで、読書意欲が高まることを目的に、読書通帳を配布しています。多くの市民に読書通帳を利用していただけるように読書週間などで利用促進の企画を行っています。

中央図書館では、子どもの多様な能力を伸ばすため、学校での調べ学習の支援に向け、市内小中学校からの要望を踏まえ、計画的に学校調べ学習用図書を整備し、小中学校へ配本をしています。

また、乳幼児から本に親しんでもらうため、市内3カ所の保健センターで実施される4か月児検診時にブックスタートパックをお渡しするブックスタート事業に取り組んでいます。

しかし、アンケートによれば、公共図書館を利用する市民の割合は、約半数となっていることから、図書館に足を運んでくれるきっかけづくりや利用が少ない10代から20代の市民の利用促進が課題です。

また、市内の小中学校との連携を深めるとともに、地域の高等学校、大学などとの連携を進める必要があります。

### (4) 図書館の利用に障がいのある方々への支援

図書館利用の障がいは、「図書館に来られない」、「活字資料を読むことが困難」等様々なものがあります。このような方のために目に障がいのある方への音訳した広報の提供やDAISY図書（視覚障害などで活字の読みが困難な人のために作成されるデジタル図書）の相互貸借のサービス、配本サービスなどの充実に向けています。

高齢化が進み、図書館に来られない方の増加や、文字が読みにくくなり読書から離れてしまう高齢者の増加が予想されることから、団体貸出サービスの周知や、大活字本の充実、デジタル録音図書の導入の検討等が必要です。

### (5) 安曇野市の歴史の未来への伝承

市や教育委員会など行政が刊行する諸計画、予算などの行政資料をはじめ、行政区や団体等で作成した地域文化に関する資料等を収集、整理し、貸出に供しています。

また、郷土資料のデジタル化、アーカイブ化などについては、博物館、美術館、公文書館等と連携し、取り組んでいく必要があります。

(6) 市民の調査・研究の援助

利用者の立場に立った図書館サービスを提供し、また、市民の学習を支援するレファレンスサービスを担えるような専門的知識と新しい技術の習得や職員の育成のため、全職員を対象とした研修会を実施するとともに、県立図書館、県図書館協会等が主催する研修会に参加し、職員のスキルアップに努めています。

図書館が、図書館活動を行う上で、専門的職員である司書が果たす役割は大きいことから、職員の専門的な知識・技術の継続や蓄積が課題です。

### 第3章 基本理念

- 多様化する市民の「学び」に応える図書館を目指します。
- 「本と人、人と人の出会いの広場」となる図書館を目指します。

市民が生涯学習を進める上で、質の高い情報を提供できる「学習センター」、「情報センター」、「文化センター」としての図書館の充実を図ります。

また、子どもから高齢者まで、本と触れ合う機会を増やすとともに、市民と市民が、本を通して出会う機会の充実を図ります。

### 第4章 基本方針

#### 1 市民への新鮮な資料や最新の情報の提供

- (1) 市民が欲しい知識や情報を入手できるよう、必要な図書資料、視聴覚資料、オンラインデータベースなどの新鮮な資料や最新の情報を提供します。
- (2) 市内の公立図書館のネットワークを緊密化し、市民の要望に応えるとともに、地域特有の歴史や文化に関連した蔵書を充実していきます。
- (3) 行政資料や各種団体等から発行される広報誌、パンフレット等の収集・整理をし、保存・提供します。
- (4) 電子媒体資料などの提供を検討します。
- (5) 中高校生から30代の世代など図書館を利用することが少ない年代層に対して、関心のもてる資料の充実を図るとともに、ニーズに合わせたイベント・講座等を開催するなど利用の増加に取り組みます。

#### 【数値目標】

指 標	現状値 (平成 28 (2016) 年度)	目標値 (平成 39 (2027) 年度)
公共図書館蔵書数 (点)	396,562	422,000
個人登録者数/人口 (%)	44	50

#### 2 さまざまな「学び」の場としての図書館サービスの充実

- (1) 生涯学習の拠点施設のひとつとして、あらゆる年代の市民が自由に訪れ、個人やグループが気軽に学ぶことができるサービスの充実を図ります。
- (2) 複合施設である本市の図書館の特徴を生かし、交流学习センター等と連携した図書館サービスを提供していきます。



- (3) 託児サービスの提供や、参加者が参加しやすい時間帯のおはなし会や講座等を設定していきます。
- (4) 図書館の機能を生かしたメディアリテラシー（情報を選択し、知識を使いこなすこと。）を支援します。
- (5) レファレンスを充実させ周知するとともに、商用データベースの活用促進を図ります。分野ごとのパスファインダー（特定のテーマに関する文献、情報の探し方、調べ方の案内）などを作成し、市民が自力で情報にたどり着く手助けをします。
- (6) 関係機関や専門機関と連携し、ビジネス支援サービスや医療・健康情報サービスなど市民のニーズに応じた新たなサービスの検討をします。
- (7) 異文化共生社会の実現のため、関係機関や団体と協力し、外国語で書かれた資料の収集と提供、英語のおはなし会などの開催に努め、グローバル化の進む社会に対応した図書館サービスの充実を図ります。

#### 【数値目標】

指 標	現状値 (平成 28 (2016) 年度)	目標値 (平成 39 (2027) 年度)
年間利用者数（資料貸出 延べ人数と講座等参加者 数の合計人数）（人）	212,808	220,300

### 3 「地域の教育力」を高める活動の推進

- (1) 子どもの「生きる力」を育むために、小中学校用調べ学習図書を整備、カリキュラム化した職場体験の受け入れ、講座の開催などにより学校図書館及び地域や家庭学習を支援します。
- (2) 市民の地域活動、生活、仕事などに必要な資料の収集と提供を行うとともに、読書会など市民の自主的な読書活動の推進を図るグループ等を支援します。
- (3) 認定こども園、幼稚園、学校、児童館等と協力して、子どもの読書環境を整えていくとともに、子どもの読書離れを防ぎ、自主的な読書活動を推進するため、「安曇野市子ども読書活動推進計画（仮称）」を策定します。
- (4) 市内の小中学校をはじめ、地域の高等学校、大学などと連携した事業、講座等を企画するなど連携を強化します。

【数値目標】

指 標	現状値 (平成 28 (2016) 年度)	目標値 (平成 39 (2027) 年度)
市民 1 人あたりの貸出 点数 (冊)	8.0	9.0

4 図書館の利用に障がいのある方々の障がいの除去

- (1) 「図書館に来られない。」、「活字資料を読むことが困難」など、図書館の利用に障がいのある方々のために、団体貸し付けの拡充、対面朗読、大活字本の充実を図るとともに、電子書籍の導入については市民の要望や先進事例を踏まえながら検討していきます。
- (2) 市の関係機関や社会福祉協議会等と連携を図り、介護福祉施設などへの図書館利用の呼びかけや、養護学校の職場体験活動の受け入れを行います。
- (3) 朗読ボランティアのサービスを拡充し、ボランティアの朗読研修会を行うとともに、広報の録音、録音図書製作等に努めます。

【数値目標】

指 標	現状値 (平成 28 (2016) 年度)	目標値 (平成 39 (2027) 年度)
団体貸出点数	25,144	28,000

5 本市の歴史と文化の継承

- (1) 郷土の歴史と文化を継承し、後世に伝えるために郷土資料を網羅的に収集し、保存、提供します。
- (2) 本市の新しい文化の創造に役立つよう、郷土資料や情報を整理し、提供します。
- (3) 市の機関、教育委員会の所管する美術館、博物館等と連携し、各機関が行う行事や講座などと連携した企画等を行います。

【数値目標】

指 標	現状値 (平成 28 (2016) 年度)	目標値 (平成 39 (2027) 年度)
郷土資料蔵書数 (点)	29,950	38,000

6 市民の調査・研究の支援の強化

- (1) 調査・研究の支援を担う職員の資質向上のため、専門知識や新しい技術の習得に努めるとともに、著作権等の法令遵守に関する研修等を充実させます。
- (2) 市民の学習の成果を生かす場としてのおはなし会や図書館講座を開催します。

- (3) 本市の図書館に蔵書のない資料でも、国立国会図書館や県立図書館などの他の図書館から取り寄せて提供する相互貸借サービスを進めます。

【数値目標】

指 標	現状値 (平成 28 (2016) 年度)	目標値 (平成 39 (2027) 年度)
レファレンスサービス 利用数 (件)	4,469	7,280
相互貸借借受数 (件)	350	450

7 計画の推進

- (1) 充実した図書館を作っていくためにアンケートの実施や市民ワークショップを開催するなど、市民との協働により、市民のニーズに沿った図書館運営に努めていきます。また、民間のノウハウを生かした図書館運営についても検討していきます。
- (2) 図書館法に基づく図書館協議会で協議の上、事業計画を策定し、公表するとともに、運営状況についての点検及び評価を毎年度行います。
- (3) わかりやすく親しみあるホームページの充実や市の広報誌、ツイッターなど様々な媒体による情報発信に努め、図書館活動の周知を図ります。
- (4) 中央図書館は、専門的な資料の充実、提供に努めるとともに、本市の図書館サービス全体の企画立案を行い、多様な事業等に取り組みます。また、地域図書館は、身近な図書館として、多くの図書館が標準的に所蔵している図書の充実に努めるとともに、地域の伝統、文化などに根差した特色ある資料の充実に努めます。
- (5) 多くの市民が利用する図書館の安全対策や個人情報の保護、迷惑行為の防止などに対応した危機管理マニュアル等の整備を図ります。
- (6) 図書のリサイクルの推進や施設の適切な管理など、環境への負荷の少ない図書館運営を行います。
- (7) 人員や資金を含めた限られた資源の有効活用を図ります。

## 資 料 編

### 1 目標基準例（日本の図書館 2011(日本図書館協会編)）

	上位公立図書館	安曇野市立図書館	備 考
人口	85,089.0	94,779	H29.4.1 毎月人口異動調査(長野県)
図書館数	3.0	5	
図書館専有延床面積 (㎡)	4,188.4	4,525	
自動車図書館数 (台)	1.0	0	
専任職員数	10.5	4	H29.4.1 現在
うち司書	6.9	2	
司書率	90.1	50.0	
非常勤・臨時職員数	18.4	32	
うち司書	10.1	31	
委託・派遣職員数	8.5	0	
うち司書	7.8	0	
蔵書冊数	408,536.1	396,562	H29.3.31 現在
うち閉架冊数	235,164.7	90,192	
図書年間購入冊数	16,393.6	17,889	
雑誌年間購入種数	319.0		
新聞年間購入種数	33.8		
登録者数	50,544.0	41,493	
貸出点数	1,033,889.0	764,311	
人口当貸出点数	12.2	8.0	
予約件数	74,554.4	28,414	
図書館費(経常費・千円)	130,387.3	158,652	H29 年度予算
資料費(臨時含む)(千円)	31,235.0	45,109	
うち図書費	20,209.8	39,972	
うち雑誌新聞費	4,537.9	5,137	
うち視聴覚費	3,474.8		図書費に含む
人口当資料費(円)	371.3	475.9	

これからの図書館在り方検討会議報告書（平成 24 年 8 月）「図書館の設置及び運営上の望ましい基準の見直しについて」から

## 2 公立図書館概要

名称・所在地	現施設開館年	構造・延べ床面積 (㎡)	蔵書点数 (H28年度末)	個人利用者数 (H28年度)
中央図書館 穂高 6765-2	H21.9.12	S造 2階建て、 1,820	200,341	128,323
豊科図書館 豊科 5609-3	H23.2.11	RC 3階建て、 1,089	81,692	45,284
三郷図書館 三郷明盛 4810-1	H30.3.10	S造平屋建て、 961	35,517	10,718
堀金図書館 堀金烏川 2753-1	H28.4.1	RC 3階建て、 700	31,783	13,889
明科図書館 明科中川手 6814-1	H15.4	RC 2階建て、 817	47,229	8,826

## 3 開館時間・休館日・貸出条件

	開閉館時刻		休館日	貸出条件等	
	平日	その他の日		点数	期間
中央図書館	9:00～ 20:00	9:00～ 18:00	毎週月曜日 祝日の翌日 最終金曜日 年末年始 蔵書整理期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人 図書 10冊</li> <li>AV 3点</li> <li>紙芝居 2点</li> <li>・団体 図書 100冊</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人 2週間</li> <li>・団体 1カ月</li> </ul>
豊科図書館	10:00～18:00				
三郷図書館					
堀金図書館					
明科図書館					

## 4 蔵書数の推移

年度	中央図書館	豊科図書館	三郷図書館	堀金図書館	明科図書館	計
H18	51,390	61,415	27,069	21,295	40,710	201,879
H19	57,206	60,986	25,609	21,166	39,073	204,040
H20	58,243	63,298	26,290	21,396	41,481	210,708
H21	61,465	67,319	27,397	21,685	42,939	220,805
H22	151,221	46,290	28,426	21,804	44,421	292,162
H23	156,476	60,136	29,074	22,278	44,069	312,033
H24	163,420	69,361	29,895	22,993	44,645	330,314
H25	171,034	71,991	30,755	23,118	45,425	342,323
H26	178,455	74,327	31,199	23,507	46,041	353,529
H27	186,793	76,416	31,520	24,431	45,936	365,096
H28	198,097	79,458	33,622	27,834	46,670	385,681
H29	200,341	81,692	35,517	31,783	47,229	396,562

※ 中央図書館の平成 17 年度から 20 年度までは、穂高図書館の数値

## 5 蔵書構成（平成 29 年 3 月 31 現在）

蔵書構成	5館合計		中央図書館		豊科図書館		三郷図書館		堀金図書館		明科図書館	
	全蔵書	うち児童	全蔵書	うち児童	全蔵書	うち児童	全蔵書	うち児童	全蔵書	うち児童	全蔵書	うち児童
総記	8,772	1,467	5,661	822	1,439	300	484	87	490	110	698	148
1 哲学	11,221	1,278	6,503	632	2,197	324	745	112	763	110	1,013	100
2 歴史	27,199	4,883	14,038	2,275	6,203	1,217	2,069	478	1,889	452	3,000	461
3 社会科学	33,936	5,369	20,043	3,002	5,835	1,189	2,103	344	2,263	410	3,692	424
4 自然科学	27,535	9,183	15,213	4,457	5,232	1,918	1,988	971	1,956	812	3,146	1,025
5 技術・工学	22,174	3,339	11,559	1,469	4,841	860	1,421	307	1,814	273	2,539	430
6 産業	11,249	2,120	6,047	933	2,444	498	709	193	826	206	1,223	290
7 芸術・美術	29,877	5,649	13,798	2,483	8,134	1,414	2,479	581	1,941	504	3,525	667
8 言語	5,186	1,612	2,519	670	1,337	539	377	134	451	153	502	116
9 文学	114,252	35,213	57,574	16,498	22,420	7,188	12,330	4,627	9,379	3,215	12,549	3,685
B 文庫	20,343		10,127		2,824		996		597		5,799	
D 大活字本	2,321		961		704		223		123		310	
N 郷土資料	29,950		12,944		7,750		3,777		2,998		2,481	
R 参考図書	3,720	151	1,831		594	1	40	1	507	64	748	85
OC 大型紙芝居	59	59	19	19	14	14	9	9	10	10	7	7
C 紙芝居	2,929	2,929	1,129	1,129	770	770	412	412	323	323	295	295
E 絵本	40,223	40,223	17,558	17,558	7,984	7,984	4,957	4,957	4,542	4,542	5,182	5,182
YE 洋書絵本	1,105	1,105	648	648	251	251	48	48	43	43	115	115
OE 大型絵本	394	394	159	159	81	81	60	60	65	65	29	29
Y 洋書	913	205	626	135	186	28	61	23	30	14	10	5
T 点字	124	15	105		7	7	6	2	2		10	7
M コミック	3,080	799	1,279	1	445	85	227	79	773	285	356	349
図書計	396,562	115,993	200,341	52,890	81,692	24,667	35,517	13,425	31,783	11,591	47,229	13,420

## 6 個人貸出点数の推移

年度	中央図書館	豊科図書館	三郷図書館	堀金図書館	明科図書館	計
H17	86,109	61,918	35,893	12,933	44,964	241,817
H18	96,950	69,311	40,108	22,402	58,858	287,629
H19	112,162	72,624	41,574	29,325	64,856	320,541
H20	128,021	80,220	48,597	35,416	66,813	359,067
H21	331,115	85,747	47,036	36,275	66,329	566,502
H22	556,589	57,509	40,313	24,923	43,971	723,305
H23	499,233	173,082	33,601	18,496	38,551	762,963
H24	492,527	164,334	33,474	20,391	32,735	743,461
H25	485,126	168,037	42,433	22,819	31,062	749,477
H26	473,419	151,948	42,769	24,562	30,862	723,560
H27	486,420	165,752	34,443	21,080	29,685	737,380
H28	479,103	155,613	43,824	56,823	28,948	764,311

※ 中央図書館の平成 17 年度から 20 年度までは、穂高図書館の数値

## 7 地域別・年齢別・男女別貸出状況（平成28年度）

地域名	平成28年度地区別貸出数/平成27年国勢調査地域人口													
	男							女						
	0～15歳	15～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計	0～15歳	15～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計
豊科	10.4	1.3	3.6	5.6	3.6	4.4	4.8	13.2	4.5	19.5	14.4	9.3	5.0	9.6
豊科南穂高	6.7	1.7	2.7	4.7	4.2	3.3	3.8	10.4	5.0	14.1	10.4	7.1	4.1	6.9
豊科高家	6.4	0.9	2.5	3.3	3.7	3.8	3.6	6.9	3.4	13.7	9.9	4.7	2.7	5.6
豊科田沢	2.8	0.5	0.2	4.9	1.9	5.4	3.4	10.1	6.0	12.4	5.1	4.7	2.7	5.4
豊科光	8.8	0.8	2.6	2.1	4.0	4.7	4.3	4.5	22.9	10.6	9.9	10.7	7.2	9.6
豊科地域	8.4	1.2	3.0	4.6	3.6	4.1	4.2	10.5	5.0	16.6	11.9	7.4	4.1	7.8
穂高	15.3	1.9	4.3	6.6	4.5	7.4	6.9	21.8	7.1	26.5	21.7	9.8	7.4	13.4
穂高北穂高	10.8	0.3	3.7	7.6	4.2	4.0	5.1	14.4	5.6	17.0	12.1	10.3	6.5	9.6
穂高有明	15.1	1.7	5.4	9.1	5.0	9.4	8.3	17.4	4.3	19.4	21.3	12.3	9.2	12.9
穂高柏原	12.9	1.6	3.6	6.2	7.4	6.3	6.4	16.7	4.5	20.2	17.8	11.4	6.7	11.4
穂高牧	14.4	1.0	4.9	10.0	12.0	4.9	7.2	31.2	6.6	26.0	21.1	9.8	9.3	14.5
穂高地域	14.2	1.6	4.4	7.5	5.6	7.5	7.1	18.7	5.5	22.1	19.8	11.0	7.8	12.5
三郷小倉	14.9	0.7	1.5	3.4	2.4	0.6	2.6	9.2	1.5	6.7	17.3	6.9	0.8	4.5
三郷温	6.7	1.0	4.5	2.3	1.0	2.4	2.9	9.3	3.1	12.9	8.3	3.4	2.5	5.7
三郷明盛	7.3	1.1	4.3	4.6	3.0	2.9	3.8	16.3	5.0	17.3	13.6	4.9	4.4	9.2
三郷地域	7.7	1.0	4.0	3.6	2.2	2.3	3.3	13.2	3.9	14.8	12.0	4.6	3.1	7.4
堀金烏川	12.0	2.7	2.6	6.2	2.3	4.8	5.3	19.1	4.6	18.0	18.3	5.4	5.2	10.4
堀金三田	11.5	2.1	2.4	3.5	2.1	4.8	4.7	16.4	4.8	22.8	14.6	5.0	3.1	9.0
堀金地域	11.8	2.6	2.5	5.6	2.3	4.8	5.1	18.4	4.7	19.2	17.5	5.3	4.6	10.1
明科光	4.0	0.6	1.9	4.1	1.9	2.2	2.3	6.3	0.3	19.5	7.6	1.3	4.0	4.7
明科中川手	10.1	0.3	3.4	7.9	3.9	3.9	4.9	17.8	5.3	16.5	18.5	4.1	3.5	8.5
明科東川手	11.0	1.0	1.1	2.3	0.4	3.3	3.2	7.2	3.3	6.3	10.7	3.4	2.2	4.1
明科七貴	7.2	1.7	1.8	4.3	3.0	3.9	3.8	8.1	3.1	17.1	9.0	5.8	2.9	5.8
明科南陸郷	5.5	0.0	5.2	0.3	0.0	1.8	1.8	6.7	3.4	32.3	5.3	7.1	0.5	4.3
明科地域	8.4	0.9	2.5	5.2	2.5	3.4	3.8	11.5	3.4	16.6	12.2	4.2	2.9	6.3
市内全域	10.6	1.4	3.6	5.6	3.8	5.0	5.1	14.8	4.8	18.3	15.2	7.7	5.1	9.4

## 8 インターネットコーナー、AVブース設置状況

	インターネット	AVブース	備考
中央図書館	4	7	
豊科図書館	4	2	
三郷図書館	4	4	
堀金図書館	3	2	
明科図書館	3	3	

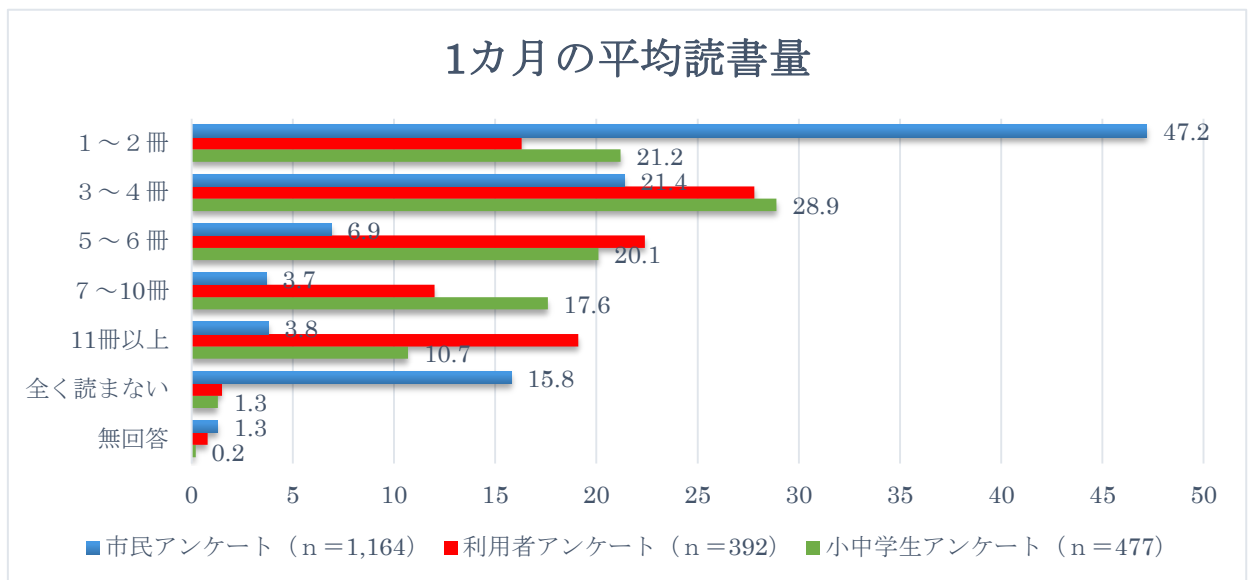
## 9 市民、利用者、小中学生アンケート

### (1) 調査の概要

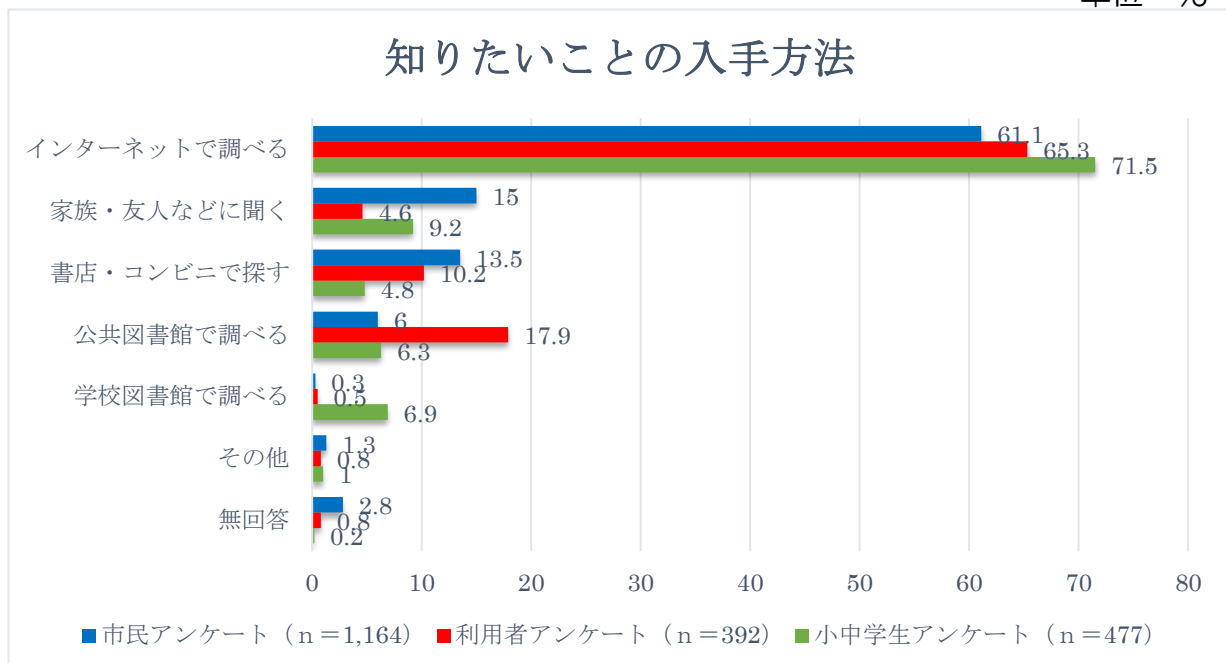
	市民アンケート	利用者アンケート	小中学生アンケート
調査対象	16歳以上の安曇野市民 2,500人(住民基本台帳 から無作為抽出)	市内の公立図書館利用 者	市内17小中学校の小学 6年生・中学2年生(各 校1クラス)
調査方法	郵送による配布・回収	図書館内で配布・回収	授業内に配布・回収
調査期間	平成28年12月12日 ～平成28年12月27日	平成28年12月12日 ～平成29年1月11日	平成28年12月12日 ～平成28年12月21日
回答数	1,164票 (回収率46.5%)	392票	477票

### (2) アンケート結果の概要

単位 %

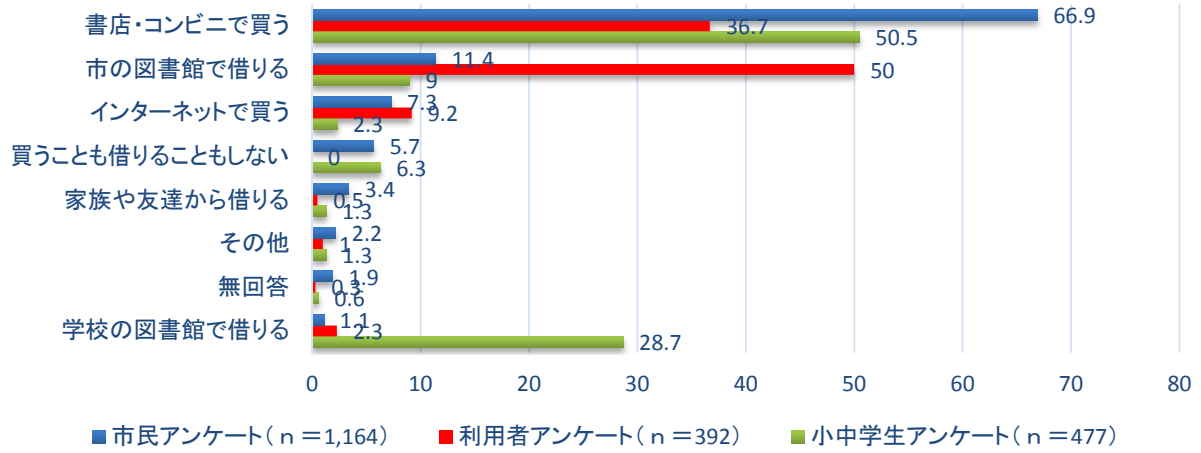


単位 %



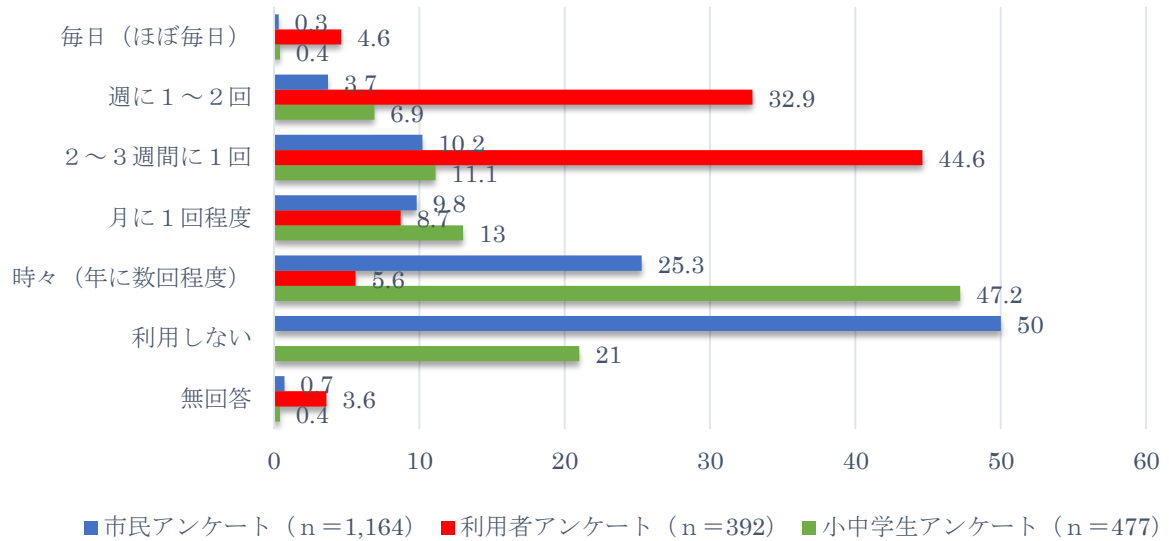


## 本の入手方法

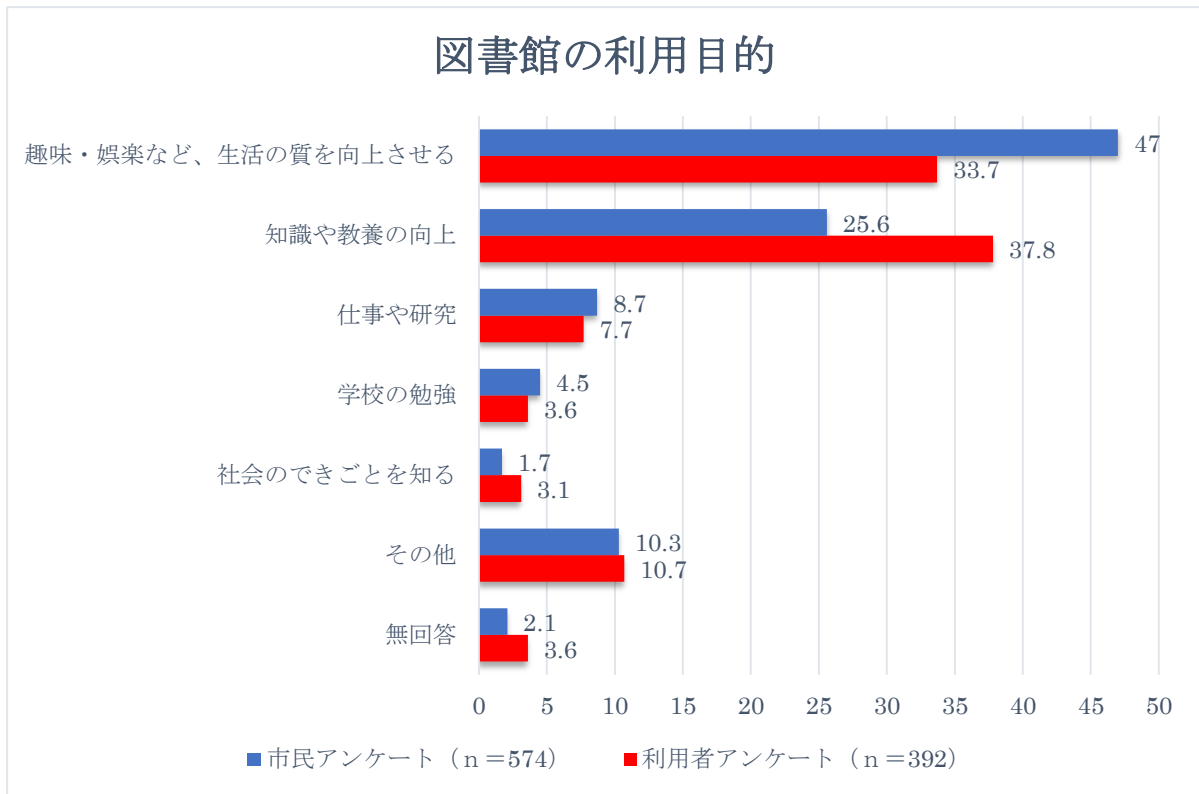


単位 %

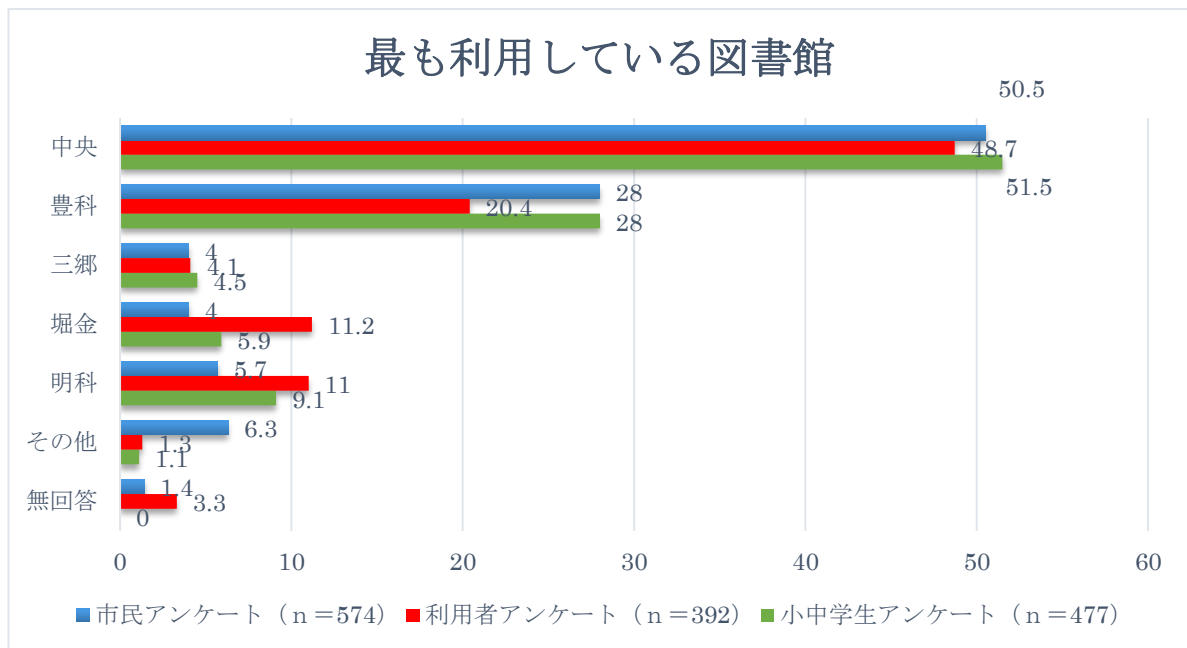
## 公共図書館の利用頻度



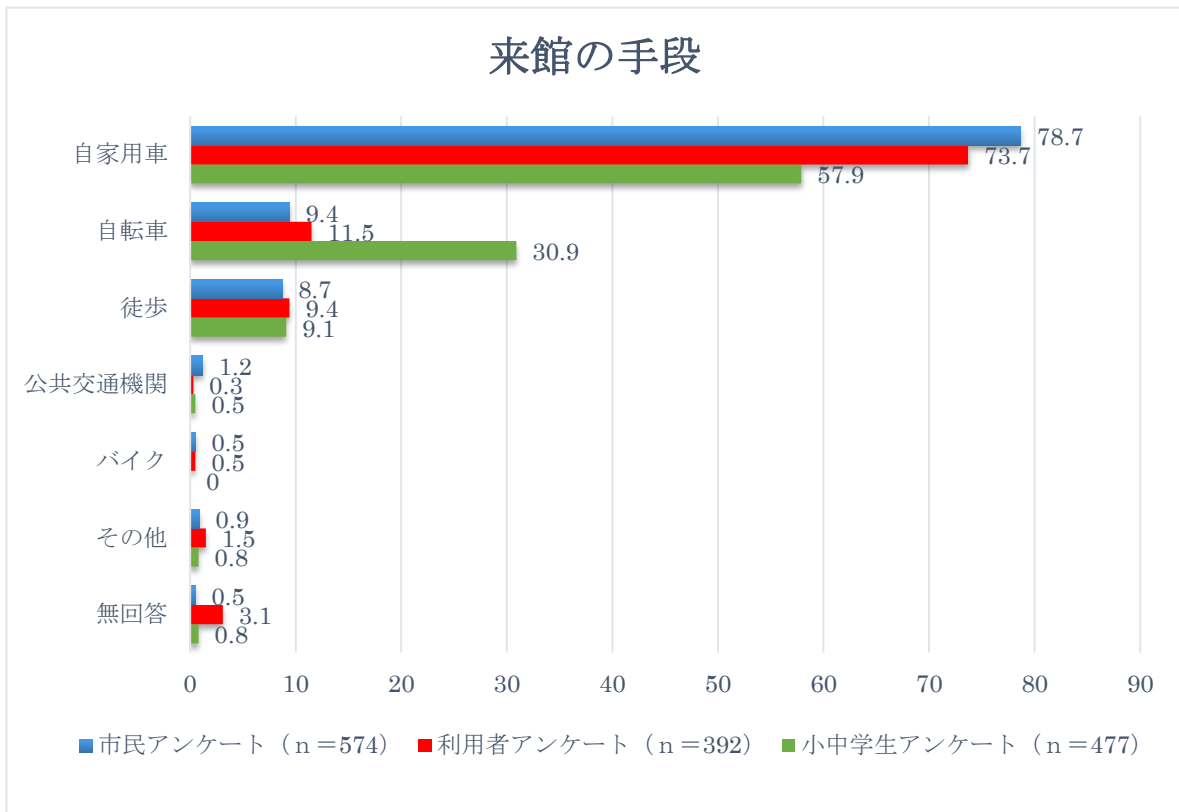
単位 %



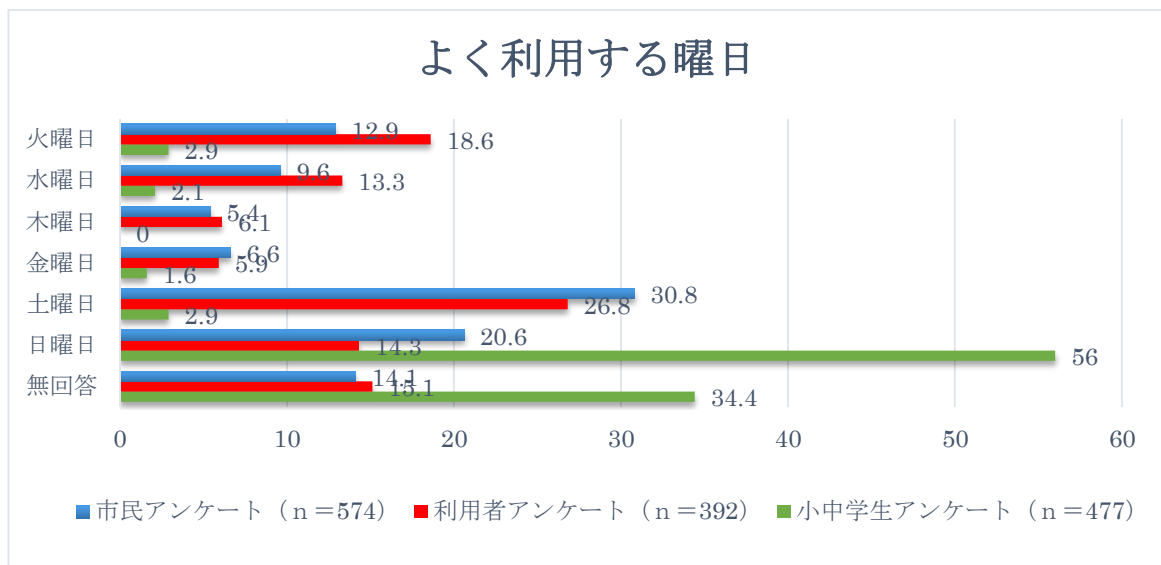
単位 %



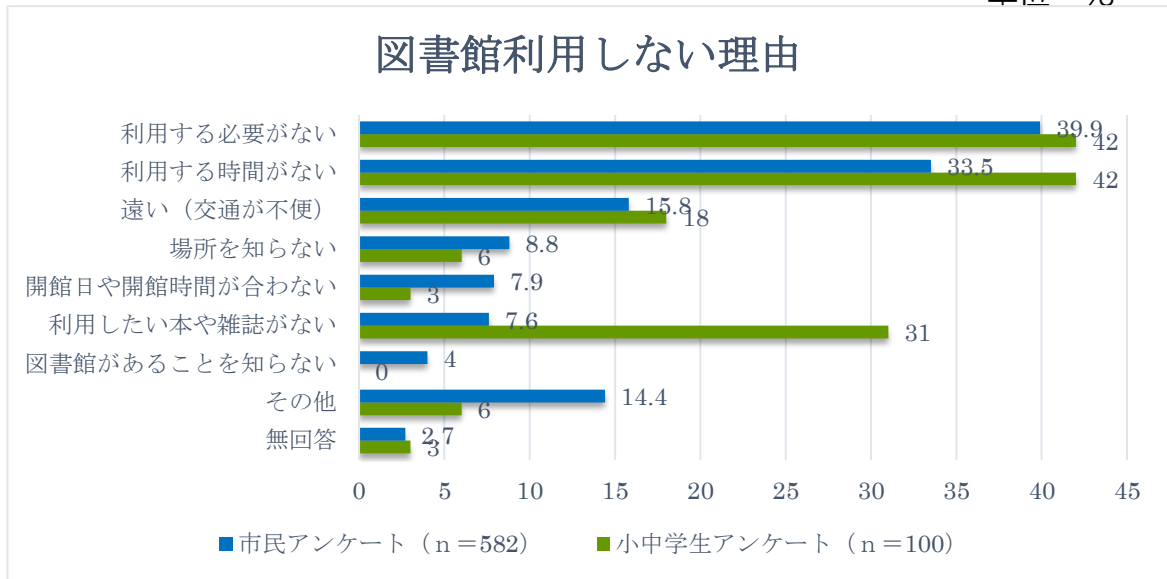
単位 %



単位 %



単位 %

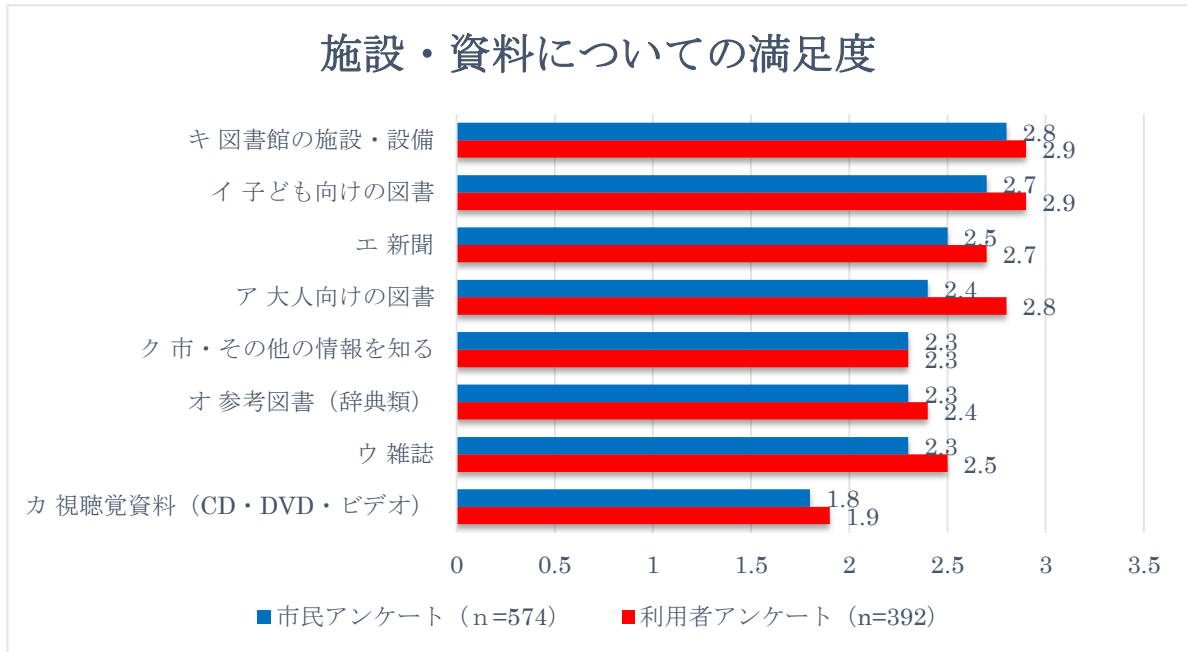


※ 複数回答あり

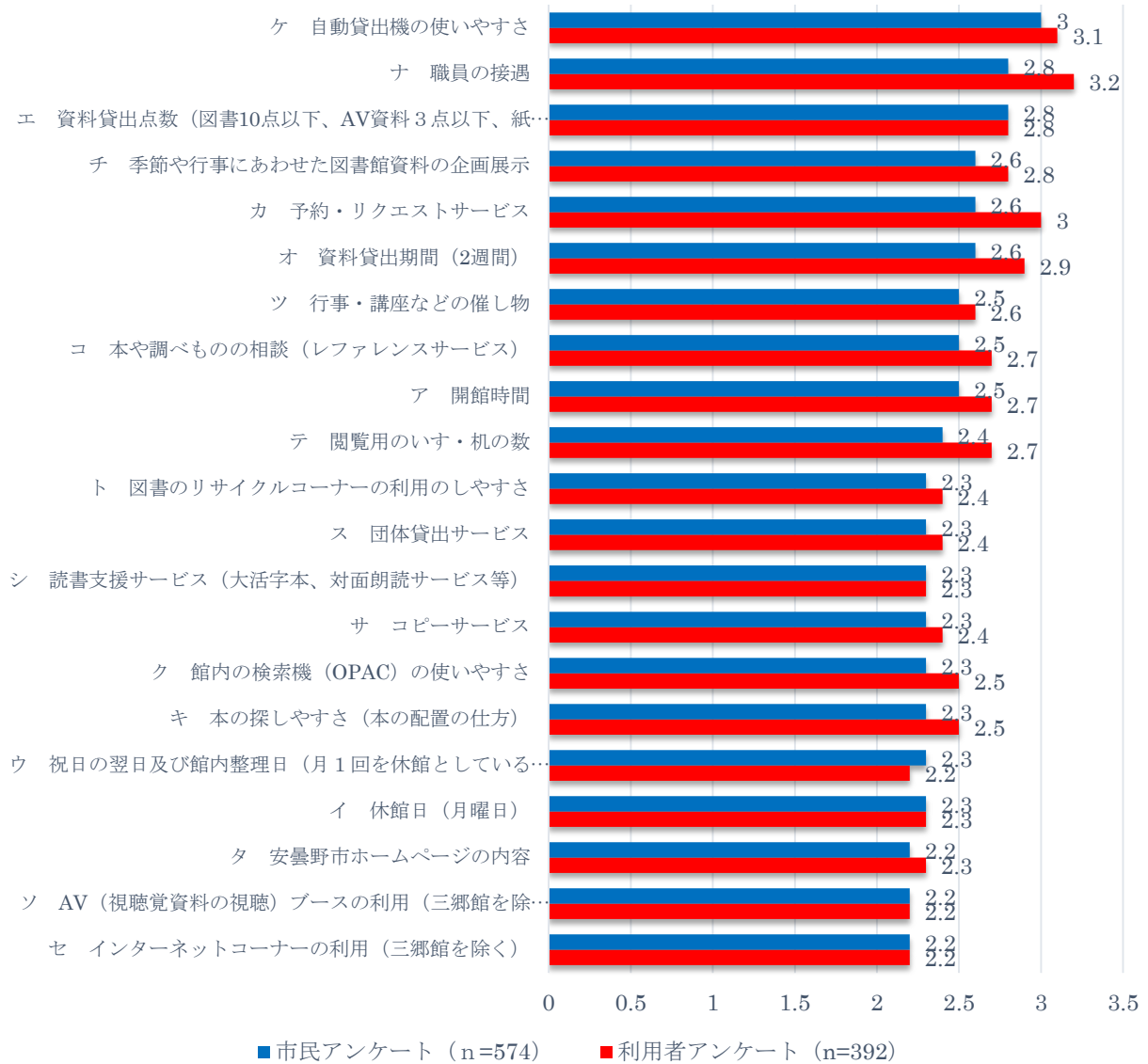
回答いただいた選択肢をそれぞれ以下のように換算し、それらの合計値を指数化して、グラフにしました。

- ・非常に満足 4点
- ・やや満足 3点
- ・どちらでもない 2点
- ・やや不満 1点

※ わからない、無回答は、除いて計算しています。



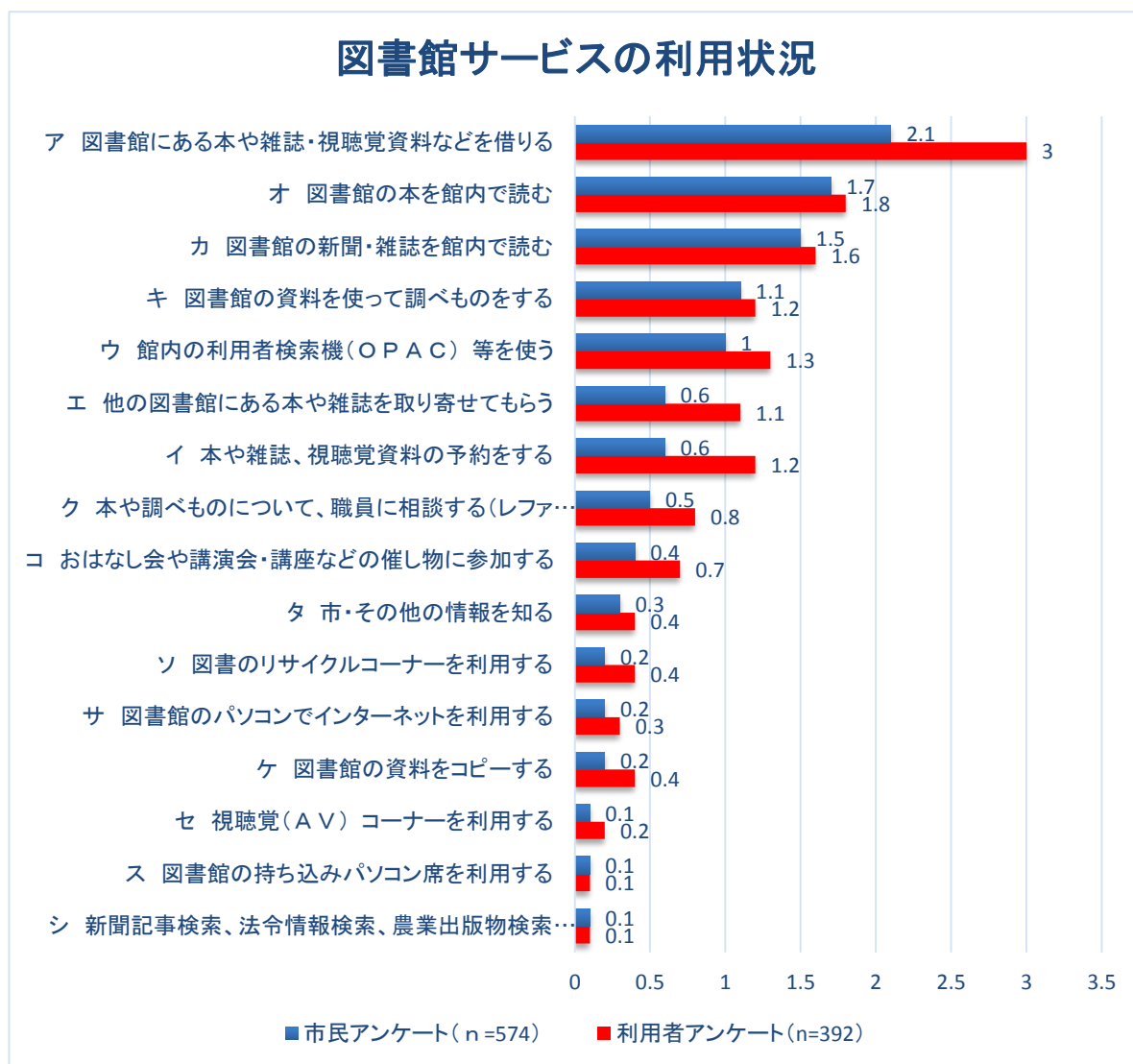
## 図書館のサービスについての満足度

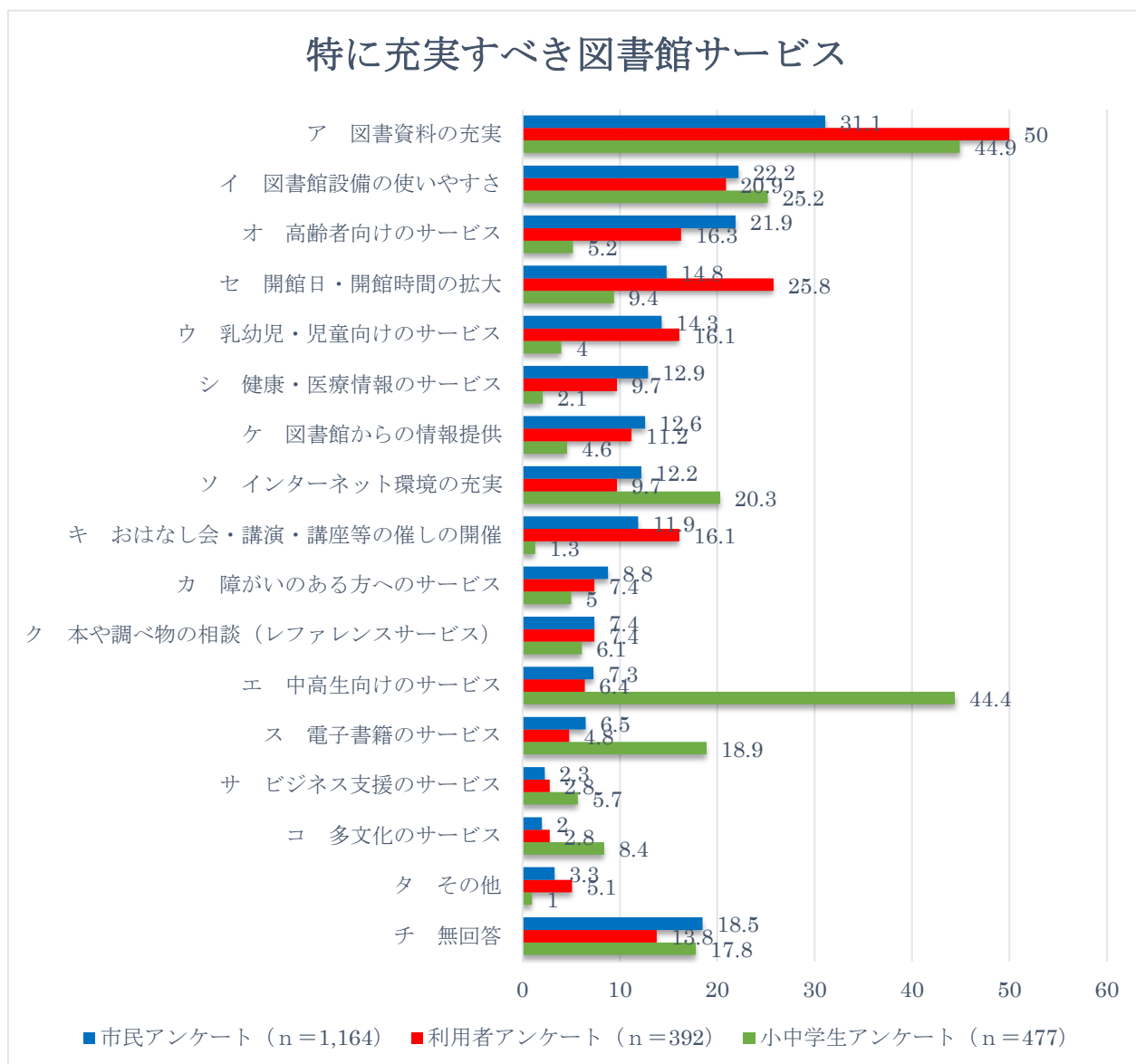


※ 回答いただいた選択肢をそれぞれ以下のように換算し、それらの合計値を指数化して、グラフにしました。

- ・いつも利用する 4点
- ・比較的利用する 3点
- ・たまに利用する 2点
- ・利用したことがある 1点

※ 知らなかった、無回答は、除いて計算しています。





※ 選択、1人3つまで



## 10 市民ワークショップ

- (1) 期 日 平成29年7月22日(土) 午後2時～午後4時30分
- (2) 参加者 応募者10人
- (3) 内 容

Aグループ キャッチフレーズ :『誰でも利用しやすい身近な図書館』 :『知と心が満たされる図書館』	
図書館資料に関すること	
良い	・本の整理整頓、分類が良い
悪い	・検索するとすぐに手に入らないものが多い(複本を多く)・英語の絵本が少ない(児童向け)・新刊の貸出中が多くて長い(児童向け新刊も)・本の紹介がほしい ・ICタグの位置を考えてほしい(特に絵本の表紙に邪魔になる)
提案	・幼児・児童向けの英語の絵本、童話、グリムの本をおく・どこまでが財産として扱われているのか
サービス、運営に関すること	
良い	・職員の対応が早くて親切、また、良く勉強している(多数)・本のある場所をすぐに案内してくれる・パソコンで調べてくれる・市外から本を取り寄せてくれる
悪い	・障がい者への配慮・図書館と小学校との連携・ベテラン職員の交代・ボランティアで、できる時にできる人がやれるように緩くしてほしい・民営化は賛成できない・一斉休館日に問題あり・ヤングアダルトを対象とした本を紹介・紹介本のコーナーに早めにタイムリーな陳列を・宣伝がうすい。市民の声を吸いあげる機会が少ない・来館者のマナーが悪い・ワークショップの討議時間が短い
提案	・“マナーを守って” 掲示を・館内の外で職員と交流しながら課題を拾い上げ、次につなげる・5館の休館日をバラバラに(複数)・分館の開館時間を長く・行政が縦社会ではなく、横のつながりでイベントを・臨時職員の雇用期限をなくす・年に数回、無料でステージ、音響を開放・ビブリオバトルや婚活パーティー・就園前のお母さんを対象に読み聞かせを教える(子は託児にして)・ボランティアと職員と一緒に企画運営をしたイベント・伴走型支援をしてほしい・企画を持ち込んで相談に乗ってくれる中間支援組織がほしい・年に数回、定期的に各館で地元住民とのワークショップをしてほしい・ワークショップを定期的開催し、市民と図書館の交流を深める・ワークショップの討議時間を90分位にする
施設、設備に関すること	
良い	・明るく静かで本が良く読める・トイレがいつも非常に綺麗
悪い	・トイレ手洗い乾燥機に黒いカビあり・リクエスト等の鉛筆を濃いものにしてほしい・図書館へ行く交通の便がない
提案	・たんぼぼカフェ4時までやってほしい・グループ活動室に清掃道具をおいてほしい

Bグループ キャッチフレーズ : 『気軽に集える図書館』	
図書館資料に関すること	
良い	・読みたい本をリクエストしてくれる
悪い	・大型紙芝居、絵本が少ない・信大に比べ専門書が少ない
提案	・大型紙芝居、大型絵本の各図書館の蔵書データを掲示してほしい・各図書館にゆうゆう（主婦の友社）とハルメグ（シニア女性雑誌）を置いてほしい・いらなくなって提供できる本をWeb上でリサイクルできる情報提供
サービス、運営に関すること	
良い	・職員が勉強していて相談しやすくなった・利用者の心を上手く受け止めてくる・相互貸借ができる・職員の対応がよい・司書のアイデアが豊富・リサイクル本コーナーが素晴らしい・必要な資料を即座にそろえてくれる
悪い	・禁貸本の活用方法を検討・ブラウジングコーナーに同じ人がいつもいて使いづらい・図書館まで遠い・講演会などイベントが中央図書館と豊科図書館に集中している
提案	・禁貸本をボランティアやお話会の人に貸し出して有効活用を・ご意見箱をおく・思春期の少年少女が自己表現する読みっこ会開催・少年少女の居場所づくり・「回し読みの会」開催・親になる人対象の読み聞かせ会（仲間づくりにもなるかも）・年間行事予定表を各戸に配布・参加できるボランティアの機会提供・ボランティアの読み手育成・出前図書館の取り組み・お話会グループの交流と他地域へのいく機会提供・他施設との連動、企画イベント・年配の方の知恵を図書館で活かす・喪失者が生きがいを取り戻すワークショップ・絵本づくり講座・図書館に行けないひとのために移動図書館を・農家の人たちが利用できる企画を・図書館を利用しない人のための企画・終活ワークショップ・年配者が思い出、懐かしの世界を楽しみあえる機会を図書館で
施設、設備に関すること	
良い	—
悪い	・本の貸出機の機能充実・信大のように飲食できる場所を
提案	・お茶をのんだり横になったり、コタツがあったり気軽に行ける図書館に・信大のように1階は飲食、話しOK、2階は話しのみ、3階は両方しない、利用内容ごとのスペースがほしい・塩尻のようにおしゃれ感を出す・デマンドの動いている曜日に、お年寄りが集える場所になるように・「厚い時、寒い時は図書館へ」を呼び掛ける・子どもたちが気楽に集まれる場所に

## 11 策定経過等

### (1) 安曇野市図書館協議会

区 分	年月日	主な内容
平成 28 年度 第 3 回協議会	平成 28 年 9 月 29 日	第 2 次図書館基本計画の策定について ・ 策定方法の検討
第 5 回協議会	12 月 2 日	第 2 次安曇野市図書館基本計画策定について ・ 市民アンケート等について
第 6 回協議会	平成 29 年 3 月 22 日	第 2 次安曇野市図書館基本計画策定に伴う市 民アンケート結果について
平成 29 年度 第 1 回協議会	6 月 23 日	第 2 次安曇野市図書館基本計画策定について ・ 市民ワークショップの開催について
第 2 回協議会	10 月 19 日	第 2 次安曇野市図書館基本計画策定について ・ 市民ワークショップの報告について ・ 第 1 次計画の基本方針の検証と今後の 方向性について
第 3 回協議会	12 月 7 日	第 2 次安曇野市図書館基本計画策定について ・ 計画素案の検討
第 4 回協議会	平成 30 年 2 月 22 日	第 2 次安曇野市図書館基本計画策定について ・ 計画案の検討

### (2) 市民・利用者・小中学生アンケート等

区 分	期 間	主な内容
市民アン ケート	平成 28 年 12 月 12 日～ 平成 28 年 12 月 27 日	調査対象：16 歳以上の安曇野市民 2,500 人（住民基本台帳 から無作為抽出） 調査方法：郵送による配布・回収 回 答 数：1,164 票（回収率 46.5%）
利用者ア ンケート	平成 28 年 12 月 12 日～ 平成 29 年 1 月 11 日	調査対象：市内の公立図書館利用者 調査方法：図書館内で配布・回収 回 答 数：392 票
小中学生 アンケー ト	平成 28 年 12 月 12 日～ 平成 28 年 12 月 21 日	調査対象：市内 17 小中学校の小学 6 年生・中学 2 年生（各校 1 クラス） 調査方法：授業内に配布・回収 回 答 数：477 票
パブリッ クコメン トの実施	平成 29 年 12 月 26 日～ 平成 30 年 1 月 24 日	1 人 4 件

(3) 市民ワークショップ

年月日	主な内容
平成 29 年 7月 22 日	テーマ：誰でも利用しやすい身近な図書館を目指して 参加者：10人

(4) 教育委員会・図書館長会議等

区分	年月日	主な内容
教育委員会	平成 28 年 7月 26 日	第 2 次図書館基本計画の策定について ・ 計画策定の決定
図書館長会議	平成 28 年 8 月 3 日～ 平成 30 年 3月 1 日	策定方法、アンケート素案、計画案素案等の 検討
教育委員会	11 月 25 日	第 2 次安曇野市図書館基本計画策定に伴うア ンケートについて ・ アンケートの実施について
//	平成 29 年 3月 24 日	第 2 次安曇野市図書館基本計画策定に伴うア ンケートについて ・ アンケート結果報告
//	12 月 25 日	第 2 次安曇野市図書館基本計画について ・ パブリックコメントの実施
//	3月 22 日	第 2 次安曇野市図書館基本計画について ・ 計画の決定